

「新年の物流を語る会」及び「新年賀詞交歓会」を開催

一般社団法人日本物流団体連合会（会長：川合正矩）は、平成 26 年 1 月 22 日（水）、海運ビルにおいて「新年の物流を語る会」及び「新年賀詞交歓会」を開催した。

「新年の物流を語る会」には会員、関係者約 1 6 0 名が出席し、2 社 9 団体（発言順：（一社）日本物流団体連合会、日本内航海運組合総連合会、（一社）日本船主協会、（一社）日本長距離フェリー協会、全日本空輸株式会社、日本貨物鉄道株式会社、（公社）全日本トラック協会、（一社）日本倉庫協会、（一社）国際フレイトフォワードーズ協会・（一社）航空貨物運送協会、（公社）全国通運連盟）の代表者が、それぞれ前年の回顧と新年の展望・抱負を 1 0 分程度ずつ語った。

その後、2 5 0 名の出席による「新年賀詞交歓会」が盛大に開催され、ご来賓の太田国土交通大臣から力強い挨拶を頂いた。また、川合会長は、冒頭の挨拶の中で、経済的にも政治的にも、ここ数年とは違った潮流が物流界に押し寄せており、我々物流業界の平成 2 6 年は、これら変化へのかじ取りの年と言えるだろう、それを踏まえ、物流連としては、①官民の連携によって施策を推進していくこと、②説明会やイベントの機会を作り、「等身大の物流業界」をみせること、③新型インフルエンザへの対応や、山間過疎地での物流サービス維持など「社会に欠かせない重要なインフラである物流の機能強化」を進めること、④我が国の物流事業者の海外展開を支援する活動を推進すること、などの活動に精力的に取り組み、物流界の新たな発展への一助にしたい、と語った。



▲新年の物流を語る会



▲川合会長



▲太田国土交通大臣